

「ネパール国安全な建物建設のための建築基準遵守促進プロジェクト(NBCC)」
受け入れ研修

2024 年 2 月 20 日
一般財団法人ベターリビング 広報部

寒さ厳しい1月25日、ネパールから12名のお客様がベターリビングに来訪されました。
ネパールでは、2015年の地震の被害を受け、国家建築基準法による耐震性向上の取り組みが進む中で、基準の遵守率がまだ十分でないという実態を改善することが課題となっています。今回のネパール代表団来訪の目的は、この課題に対処するために、日本の行政、第三者認証・試験機関、そして民間の建築事業者を訪問され、研修と見学を行い、自国の課題解決に活かすことにあります。(JICA 主催)

プロジェクトの紹介

2015 年 4 月 25 日、カトマンズ西 76km 震源マグニチュード 7.8 地震が発生。約 8,790 人死亡、約 22,300 人負傷、約 50 万戸が全壊しました。これを受け新築建物の耐震基準が強化。組積造から鉄筋コンクリート造が増えました。しかし建築主・施工者の法遵守意識・知識不足から図面と異なる施工も多く、行政の設計・施工検査能力、建築技術者の施工監理能力、施工業者の品質管理能力啓発が課題です。ネパール政府の支援要請を受け本件は、20 年以内の地震に強い建物建設の主流化へ建築基準遵守メカニズム構築を目指す技術協力プロジェクトです。(JICA ホームページより)

研修参加者

ネパール国家都市開発省・都市開発建設局のメンバー6 名、自治体行政建築技師メンバー6 名

主な研修・視察訪問先

- ①行政(国交省・東京都・横浜市)
- ②第三者認証検査機関(ベターリビング・建築研究所)
- ③民間建築事業者(鹿島建設・ブリヂストン)

ベターリビングでの研修内容と実施状況

- 一日目：住宅建築評価センターでの構造計算適判と性能評価認定についての業務紹介
- 二日目：つくば建築試験研究センター(T B T L)での業務照会と試験場視察

<研修一日目 住宅・建築評価センター>

ネパールの皆様との初対面は「ナマステ」と両手を合わせての笑顔のあいさつ交換から始まりました。
この日の東京は今年一番の寒さでしたが、後からお聞きするとネパールも同じように冬は寒いそうですが、日本のからっ風(乾燥した北風)には慣れていないとのことでした。

研修一日目は、住宅・建築評価センター長小駒による、ベターリビング全体と財団のミッションについての説明からスタートいたしました。その後、構造判定部金山より、構造計算適合性判定の目的や対象建築物の範囲、業務フロー、現状の課題を説明いたしました。皆様は熱心に聞き入れ、多数の質問もいただきました。



続いて住宅・建築評価センター特任部長青木より、住宅性能評価業務の説明を行いました。

住宅性能評価は、建築基準法の最低要件を満たすだけでなく、それ以上の水準を含めた省エネ等級や耐震等級を規定した制度に基づくものです。義務付けではありませんが、新築住宅の約 1/4 に活用いただいています。「なぜ建築基準法以上の水準を目指すか」との質問に対し、住まい手の満足向上だけでなく税制等の優遇措置への活用などもある旨回答いたしました。



一日目の最後には、研修員を代表し、ダンガル様（都市開発省）から、「ネパールには建築基準法が存在するものの、それを遵守できるシステムがまだ整っていません。建築物に対する第三者機関のようなチェック機関があれば、遵守率も向上すると感じました。」と感謝の言葉を頂戴いたしました。また、郷土のお土産のお気遣いいただきました。誠にありがとうございます。



<研修二日目 住宅・建築評価センター>

2日目はつくば建築試験研究センター（以下 TBTL）を見学いただきました。上席参与の藤本より、TBTL の役割や各種試験の目的・意義について説明いたしました。日本では建築基準法に基づき構造や防火など重要な性能を確保するため一定の試験を行い大臣の認定を受けたものを使用する制度があり、その試験機関のひとつとして TBTL が存在します。不正な材料の使用を許さないため、第三者認証機関がチェックする仕組みです。TBTL では、コンクリートなどの試験期間が申請者の工期にも影響するため、現在では N+1 日に報告できるようなシステムとしています。



個々の建築物は民間所有者のものであっても、国や都市の共通の資産とも考えられます。良い国は「良い国民」と「良い資産」からなり、その両者が揃った国が発展していくとの説明をいたしました。

その後、試験場の現場を視察いただきました。特にコンクリート圧縮強度試験では実際の試験デモを実施し、皆様も熱心にご覧になっていました。さらに、3室型恒温恒湿試験装置や防耐火試験・杭曲げ強度試験などを見学いただきました。約1時間後に事務所に帰り、最初に見学いただいたコンクリート圧縮強度試験のレポートを全員にお配りしました。このスピード仕上げには皆様も驚かれたようです。



質疑応答のあと、研修員を代表し、ジュヌ様（ラリトプール市技師）からのご挨拶を頂戴しました。「講義と試験機見学もできて有意義でした。最初の講義もとても分かりやすかったです。その後見学した試験機も初めて見たものであり、とても良い経験になりました。ありがとうございます。」

最後に、藤本より、ネパールでもこのようなシステムが構築できることを切に願っていると申し上げ、二日間の研修は終了いたしました。



ネパールの皆様、二日間お疲れ様でした。

私どもの情報がネパール国の発展の一助になれば大変嬉しく思います。

<問い合わせ> 住所：〒102-0071 千代田区富士見 2-7-2
担当：広報部 (03-5211-1402)

